

あっち

こっち

おみのり情報パック

# おみじよ

おかげさまで  
ついに100号



2017 夏の号

VOL.

100

# おみのり三昧

別れは、出会いがあれば必ず訪れるものです。また、会うという事は同時に別れのはじまりだともいえます。それを「生者必滅会者常離」ということばであらわします。いま、釈尊とお弟子の阿難との別れの場面が原始經典に語られます。耳を傾けてみたいと思います。

それは、釈迦が重い病におちいられた時、阿難はもはや入滅されるのではとうろたえていたのですが、なんとか危機を脱することができ、平静さをとり戻されたのです。そこで阿難は考えました。釈尊はこのまま入滅されることはないだろう、最後にはきっと大事なことをおっしゃるにちがいない、と。阿難はその時を待っています。

しかし、釈尊のことばは次のようなものでした。「アーナンダよ、このうえ、出家者のサンガは私に何を期待しているのか、私はこれまで教えを、内外の隔てなく説いてきたではないか、アーナンダよ、如来には〈師の拳〉など存

在しない・・出家者のサンガは、私の指導のもとにあるという意識も存在しない」（マハーパリニッバーナ經）

このことばから、最後になって大切なことが聞けると思ったり、仏法に遇うことを人生の終わりに送ってしまうのではなく、日頃から聞く事が肝要だということをおかたうことができます。それは師の拳がないということは、釈尊が語らずに持っている教えは一つもないことを表しているからです。だから、釈尊が法を説いておられるときによく聞かねばならない、ということになるわけです。

また釈尊には、人を導こうとか、教えを諭すという態度はなかったといえます。それはいまのことばにも示されています。釈尊は自らさとられた法に尊重恭敬されています。これは、共に法に導かれていくということの意味するものです。

親鸞聖人もそうでした。説く立場ではなく、聞く立場で一貫しておられたということです。

（大乘より）

## 日頃の聞法

### 勸学

おあた  
りしょう  
大田利生

## ☎テレホン法話☎ (安芸教区内)

志和組（東広島市）(0824)33-4989  
 専徳寺（大和町）(08473)4-1933  
 教順寺（東広島市）(0824)29-0050  
 教得寺（豊栄町）(0824)32-3600  
 教法寺（江田島町）(0823)42-2511  
 願船坊（可部町）(082)814-1011  
 正向寺（湯來町）(0829)86-0955

教徳寺（甲田町）(0826)45-3800  
 〃〈童話〉(0826)45-3333  
 佐伯東組（広島市）(082)922-9914  
 徳善寺（豊栄町）(0824)32-2299  
 正覚寺（加計町）(08262)3-0111  
 礼安寺（加計町）(08262)2-2112

※テレホン法話は、電話で聴聞できるサービスです。  
 おかけ間違いのないように。（休止している場合があります）

# 夏

## のことば

### 「なぞ」

なぞなぞなアに、  
 たくさんあって、とれないものなアに。

青い海の青い水、

それはすくえば青かない。

なぞなぞなアに、

なんにもなくつで、とれるものなアに。

夏の昼の小さい風、

それは、団扇（うちわ）ですくえるよ。

金子みすゞ



# おみじょ100号の軌跡

『おみじょ』は本号で通算100号に達しました。年4回発行で丸25年！ここまで続くとは…。皆様のお声を頂戴しながらの道のりでした。本当に感謝！です。そこで、25年全100号のこぼれ話などを紹介しましょう。



絶賛編集中のスタッフ

★「広島で聴聞するのに役立つ情報誌を作ろう」25年前に新設された広陵東組伝道広報部会(現伝道部会)の面々の、熱い想いから『おみじょ』は創刊されました。ご法義どころの広島にはお聴聞できる場所が多くあります。インターネットなどは普及していなかった時代、そんな法座情報は貴重でした。

★『おみじょ』の編集にはそれなりの苦勞がありました。可能な範囲の印刷行程は自分たちで行ないました。パソコンで編集したデータを出力センターに送り、製版用の分版フィルムに出力して、そのフィルムを印刷屋に持参しました。すると数日で印刷が上がりました。これで時間とコストが抑えられたのです。



分版出力フィルム

★1992年10月に発刊された創刊号は、現在の「おみのりカレンダー」にあたる法座と行事の予定だけを掲載した簡単なものでした。その後、テレビ・ラジオ番組、テレホン法話、新刊仏教書などの情報を追加し、さらに法話や特集記事などを増やして、徐々に読み物としての体裁を整えていきました。コーナーも色々ありました。「真宗の非常識」「おみのり仲間」「おみのりの周辺」「おみのり歳時記」「仏事ワンポイント」「おみじょの本棚」「おみじょひろば」「おみじょQ&A」「おみじょ探訪」等々。『おみじょ』と呼んでなかった頃は、やたら「おみのり」を付けてましたね。

★『おみじょ』の略称は第16号から登場しました。正式タイトルは今でも『あっちこちおみのり情報パック』です。いずれも勢いで付けたヘンテコな名前です。今思えば若気のいたりだったような…。



初期のタイトルロゴ。少々お堅い雰囲気。



「おみじょ」ロゴ登場まもない頃。まだモノクロ。

第22号の特集は「蓮如木」?? 実は「⑤」のはずが文字化けしたので。当時はよくあったことですが、表紙に堂々と掲げてはさすがに…。

特集「蓮如」(木)



左は第20号に掲載の写真です。本当は黒色を重ねてセピア調の色合いだったのですが、二色の出力設定を間違えて、写真全部がケバい紫一色になりました。ただ、みんなそんな演出だと思ってくれたようで、全く指摘されずすみました。

## 特集記事のいろいろ



vol.26・1999年冬の号

vol.27・1999年春の号



↑ 試行錯誤の時代。長続きしなかった。

現在に近しい形。



vol.46・2004年冬の号

vol.50・2005年冬の号

vol.62・2008年冬の号

vol.80・2012年冬の号



# おみじよおみりカレンダー

7月

**1日(土)真宗学寮広済会法座(7/1~7/3)「仏さまに出会う道」** 築田哲雄師(広島市南区・法光寺)[時間]9:00; 13:30(1日のみ朝席なし)[会場]真宗学寮講堂/關教部光道会真宗講座「蓮如上人に学ぶ」能美潤史師(龍谷大学専任講師)[時間]14:00[会場]光道会館

**5日(水)關教部慈光会月例法座「人間の目的」**相唯信師(中区・実相寺)[時間]14:00[会場]光道会館

**9日(日)日曜真宗講座** 根来暁師(東広島市 西福寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

**12日(水)關教部慈光会月例法座「五濁悪世とお念仏」** 桑原浄昭師(呉市・浄円寺)[時間]14:00[会場]光道会館

**15日(土)親鸞聖人御命日法要(7/15~7/16)** 安部敏孝師(安芸高田市・圓光寺)[時間]15日:13:30/16日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂

**17日(月)広島青年僧侶春秋会オアシス法話**[時間]18:30[会場]SLOW DOWN

**19日(水)多山報恩会仏教講演会** 徳永道隆師(佐伯区・延命寺)[時間]10:30[会場]広島赤十字・原爆病院

**23日(日)日曜仏教講座** 故選義法師(西区・教専寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

8月

**1日(火)真宗学寮広済会法座(8/1~8/3)「さすらいの終点」** 高松秀峰師(広島市中区・西向寺)[時間]9:00;13:30(1日のみ朝席なし)[会場]真宗学寮講堂/豊耳会仏教講座 秋葉忠利師(前広島市長、ヒロシマ・ピース・オフィス代表)[時間]13:30[会場]本願寺広島別院

**2日(水)關教部慈光会月例法座「信心正因、称名報恩」** 伊藤唯見師(筒賀村・順正寺)[時間]14:00[会場]光道会館

**5日(土)原爆忌法要(8/5~8/6)** 上園恵水師(中区・浄園寺)[時間]5日:13:30/6日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂/關教部光道会真宗講座「蓮如上人に学ぶ」能美潤史師(龍谷大学専任講師)[時間]14:00[会場]光道会館

**13日(日)日曜真宗講座** 沼田典生師(東広島市・浄蓮寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

**15日(火)孟蘭盆会(8/15~8/16)** 安方哲爾師(大阪府貝塚市・正満寺)[時間]15日:13:30/16日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂

**23日(水)關教部慈光会月例法座「置かれた場所で咲く」** 加藤一英師(豊田郡・浄泉寺)[時間]14:00[会場]光道会館

**27日(日)日曜真宗講座** 安部寿典師(安芸高田市・圓光寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

9月

**1日(金)真宗学寮広済会法座(9/1~9/3)「彼岸花」** 青原令知師(広島市中区・眞光寺)[時間]9:00; 13:30(1日のみ朝席なし)[会場]真宗学寮講堂

**2日(土)關教部光道会真宗講座「蓮如上人に学ぶ」** 能美潤史師(龍谷大学専任講師)[時間]14:00[会場]光道会館

**6日(水)關教部慈光会月例法座「阿弥陀様に出会う道」** 築田哲雄師(南区・法光寺)[時間]14:00[会場]光道会館

**13日(水)關教部慈光会月例法座「まかせよ すくう親じゃもの」** 武山見隆師(山県郡・専正寺)[時間]14:00[会場]光道会館

**15日(金)親鸞聖人御命日法要(9/15~9/16)** 寺西龍象師(呉市・眞光寺)[時間]15日:13:30/16日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂

**16日(土)広島青年僧侶春秋会オアシス法話** [時間]18:30[会場]SLOW DOWN

**17日(日)日曜真宗講座** 有谿賢友師(東広島市・徳正寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

2017 7~9月

スケジュールの内容が、一部変更になる場合があります。電話で確認の上、お出かけください。

**19日(火)多山報恩会 仏教講演会** 河野行昭師(安芸郡・西林寺)[時間]10:30[会場]広島赤十字・原爆病院

**23日(土)秋季彼岸会** 久留島法暁師(安佐北区 圓正寺)[時間]10:00;13:30[会場]本願寺広島別院本堂

**24日(日)日曜真宗講座** 徳正俊平師(三原市 徳正寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

## 前号のクイズの正解

### インド

当選者(敬称略) 5名

呉市	中区
中宗 美由紀	湊 妙子
南区	東広島市
寺田 えいじ	藤川 弘子
南区	
三根 昭子	



## 仏の子 サマースクールの お知らせ



この「おみじよ」を発行している広陵東組というお寺のグループは、今年も夏休みに仏の子を育てる「サマースクール」を開催します。小学生が北広島町志路原の浄土寺さんに宿泊し「命の尊さ」「思いやり」「正しい心」を学ぶ集いです。

キャンプファイアー、飯ごう炊さん、室内オリンピックなど、楽しい行事がいっぱい。ひよっとすると近くの川で天然記念物の「オオサンショウウオ」を見ることができかも。

今年は、7月25~27日に2泊3日で行う予定です。ご家族やお知り合いのお子様には是非ともご参加をお勧め下さい。

詳しくはお手次の寺院にお問合わせ下さい。

### 会場あんない

☎(082)231-0302  
広島市中区寺町1-19  
〒730-0801



本願寺広島別院

☎(082)233-4640  
広島市中区猫屋町3-2  
猫屋町ビル4F  
〒730-0852



關教部光道会館

☎(082)247-1253  
広島市西区南観音2-8-15  
〒733-0035



真宗学寮

広島市中区千田町1-9-6  
〒730-0052



広島赤十字病院  
健康管理センター

多山報恩会連絡先  
☎(082)241-5540



# ★創刊100号記念★ 愛読者プレゼント



おみじょ (あっちこっちおみじょの情報バンク)

Vol.100/2017 夏号 2017年7月1日発行

発行所：浄土真宗本願寺派安教区広陵東組編輯部  
〒733-0872 広島市西区古江東町4-30 誓立寺内  
TEL:082(2)71-5265 FAX:082(2)71-5266 e-Mail: omijyo@urban.ne.jp

お陰様で「おみじょ」もついに創刊100号を迎えることができました。

そこで、愛読者の皆さまに日頃の感謝の気持ちを込めて、豪華プレゼントをお贈りいたします。

はがきに、あなたの①郵便番号 ②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥本誌へのご意見／ご感想⑦浄土真宗に対するあなたの思い⑧ご希望の賞(A賞B賞C賞D賞)はがき1通につき1商品品を明記して応募ください。

宛先：〒730-0811 広島市中区中島町7-2 浄土寺内「おみじょ」読者係  
※注意：1人何枚でも応募できますが、当選は「1人1商品品」に限らせていただきます。

## A賞

1名に

### ICレコーダー

お聴聞のお供に、ぜひ欲しいのが、このICレコーダー。簡単操作で、なんでも録音できて、好きなときに再生できます。良いご話をいつでもお手元に。



イメージ画像  
実物と異なる場合があります。

## B賞

3名に

### この世界の片隅に [DVD]

この時代原作の同名マンガを片淵須直監督がアニメ化。主に呉市を舞台に、戦時下の困難の中にも豊かに生きる姿を描く。大変な反響を呼び、大ロングランの異例のヒットとなった作品のDVD。



## C賞

10名に

### 茉莉花 日めくりカレンダー



人気の仏教雑誌「茉莉花」の100号を記念して作られた日めくりカレンダー。わかりやすい一口法語と可愛いイラストで、心が癒やされます。

## D賞

### 本願寺 一筆箋(いっぴつせん)

本願寺にある国宝などをモチーフにした一筆箋。ちょっとしたお手紙に便利です。メモとしても、ただ手元に置いておくだけでも素敵です。



## 賞

20名に

## 締め切りは 9月10日 (必着)

### 編集後記

- ▼スタッフからのひとこと集
- おみじょ100号おめでとう！一区切りまで来ましたが、
- 霊山勝海和尚がご法話で「法蔵菩薩の五劫思惟とは、時間をかけたもの、続けてきたものには力があるという意味ですよ」と言われた。継続は力なり。次は「おみじょ」200号だ！
- 熊本から養子に入って早3年、節目の編集に立ち会えた事、お陰様です。
- 振り返ると25年、長かったよ……、あつという間のよう……。
- 第1号を出すまでのケンケンガクガクの会議、楽しかったです。
- 子ども達の頃に見ていた「おみじょ」、編集に携わってみて、初めてわかった大変さ。
- ない知恵絞って、ウンウンうなる締め切り前。夢に見ることもありません。
- 京都まで取材に行ったこともありました。驚きと発見、いっぱいでした。
- 読者に支えられて、なんとかかんとかココまでできました。心より感謝いたします！
- 少ない予算と少ないスタッフ、我ながらよく頑張ってきたものです。

※『おみじょ』最新号は、広陵東組各寺院、広島別院、光道会館、真宗学寮、多山報恩会、および日曜仏教講座で配付されます。